

第10回 皇學館大学道徳科教育研究協議会研究大会

1、テーマ 「実践とその理論化をめざして」

2、開催趣旨

本研究大会では、これまで学校教育に携わる教員をはじめとして、道徳教育に関心のある研究者や一般の方々
の参加を得て開催して参りました。そして、大会での発表を機縁に、現場教員と研究者との共同研究が行われ、
その理論化が進められているといったことが行われるようになっていきます。教育において、実践と理論は車の両
輪の関係にあるということが言われています。すぐれた実践をより広範囲に広めていくためには、その理論化が
求められますし、それによって実践の教育的効果はより深められることが期待できます。

そこで、本大会では、小中高校で高い実績をあげられている実践の発表及び、実際に現在共同研究が進められ
ている「『道徳カード』の実践とその理論化」と題するシンポジウムを通して、会場の皆さんと共に研究討議を
行っていききたいと思います。

3、日時 令和6年11月24日(日) 9:30(受付 9:00～)～16:40

4、会場 皇學館大学 621 教室(6号館2階)

〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町 1704

TEL.0596-22-0201(代) FAX.0596-27-1704

5、主催・後援

〔主催〕 皇學館大学道徳科教育研究協議会

〔後援〕 三重県教育委員会、三重県倫理法人会、生徒指導士認定協会

6、日程

・開会挨拶(9:30～9:40)

・実践発表(9:40～12:40)

小出 潤(千葉県公立小学校教諭)

吉田松陰流教育～一人一人の魂が輝く教育変革への道標～

熊谷雅之(愛知県公立中学校教諭)

自己探究と哲学対話(わっかトーク)を行動に繋げる道徳の授業

和田秀雄(兵庫県立西宮北高校教諭)

教師の在り方から始まる道徳教育

坊 佳紀(奈良県公立高校教諭)

自分で決めたら幸せになれる

〈昼休み 12:40～13:30〉

・講演(13:30～15:00) 質疑応答:15:00～15:10

富安徳久(とみやす のりひさ:株式会社ティア代表取締役)

昭和35年(1960)、愛知県宝飯郡一宮町(現:豊川市)生まれ。高校卒業後、大学の入学直前に葬儀アル
バイトに感動し大学入学を辞退して葬儀会社に入社。平成9年(1997)、株式会社ティア設立し、代表取
締役社長就任。平成26年(2014)、東証一部、名証一部上場。令和4年(2022)上場市場再編に伴い、東
証スタンダード市場、名証プレミアム市場に上場。著書に『最期の、ありがとう。新・ぼくが葬儀屋さんにな
った理由(わけ)』((株)Wonder Note)ほか多数。小中学校の生徒を対象に命の尊さ、感謝の大切さを
伝える「命の授業」と題した講演を初め、社内外で年間150本を超える講演活動を行っている。

演題 「尽生(じんせい)と志事(しごと) ～夢は見るもんじゃない!叶えるもんだ!!～」

- ・シンポジウム「道徳カード」の実践とその理論化(15:10～16:40)
溝口哲志(津市立美杉小学校教諭)
森本晃介(滋賀県立草津養護学校教諭、公認心理師、臨床発達心理士)
市川 哲(南山大学教職センター講師、公認心理師)
司会: 渡邊 毅(皇學館大学教授)
- ・閉会の辞(16:40)

7、申し込み

メールでのみ受け付けます。11月18日(月)までにお申し込みください。

メールの件名は「第10回研究大会参加申し込み」として、次の3つをお知らせください。

①お名前 ②ご所属 ③e-mail アドレス

※当日会場近くでご昼食がとれるお店がありませんので、予め各自でご昼食をご持参ください。

【申し込み先】 tsu-watanabe@kogakkan-u.ac.jp

【申し込み後】 受付後、メールにて参加証をお送りいたします。送られてこない場合は事務局にメールが届いていない可能性がありますので、お問い合わせください。
参加証に必要事項をご記入の上、当日「参加証」を受付に提出してください。

8、参加費 無料

9、問い合わせ(事務局)

〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町 1704 皇學館大学 渡邊毅研究室内
電話 (0596)22-6425 FAX(0596)27-1704

10、交通

伊勢市駅 (JR・近鉄) または宇治山田駅 (近鉄) より、内宮行バス (徴古館前経由) または宿浦行バスに乘車し、皇學館大学前下車 (約10分)。徒歩の場合は、各駅より約20分。

※駐車場が狭いため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

◇実践発表者プロフィール

小出 潤(こいで じゅん)

昭和 60 年静岡県生まれ。千葉大学教育学部卒業。千葉県公立小学校教諭、一般社団法人志教育プロジェクト理事、世界青少年「志」プレゼンテーション大会実行委員長（文部科学省他多数後援）、「もののふの会」副会長、「吉田松陰流教育研究会」会長、「夢志教師塾」代表、オモロー授業発表会全国大会副実行委員長、一般社団法人志教育プロジェクト「志共育」認定講師、志大学校 松下村塾学科 講師、大人の小学校 令和松下村塾 講師、千葉県印旛地区教育研究会 生活指導研究部長、教育立国推進協議会分科会メンバー。

「日本の誇りを取り戻し、一人一人の命を最大限に輝かせる世界一熱い教育者として、地球人を真の大和の世界に導く」という志を立て、現場での教育活動や日本の教育改新、「日本の誇り」「志」の教育の普及に精力的に取り組んでいる。

著書に『吉田松陰流教育～一人一人の魂が輝く教育変革への道標～』（万代宝書房、2024 年）。第 1 回万代宝書房大賞にて大賞を受賞。

熊谷雅之(くまがい まさゆき)

愛知県公立中学校教諭、オモロー授業発表会 全国大会副実行委員長、オンライングループ「DiverCity」代表、「#教師のバトン」プロジェクト 文部科学省認定教員、「教育立国推進会議」メンバー、地元の教育者グループ「本物の先生」に所属し、理想の教育を目指している。

「子どもの幸せを第一に考えた教育の実践」「現場で奮闘する先生方と共に楽しく働くこと」を目指し、執筆や全国での講演活動などを行う。市内の教育論文コンクールで最優秀賞を受賞。

著書に『教師は学校をあきらめない！ 子どもたちを幸せにする教育哲学』（幻冬舎ルネッサンス新社、2021 年）、『中学校に行くのが楽しくなる本 ～悩みを成長に変える 60 のヒント～』（みらいパブリッシング、2022 年）、『「聴く力」「伝える力」を高めて先生を楽しむ秘訣 ～ウェルビーイングな教師の「コミユカ」高い働き方～』（明治図書、2024 年）。

「幻冬舎ルネッサンス新社」出版コンクールで大賞を受賞。

和田秀雄(わだ ひでお)

兵庫県立西宮北高校教諭 探究部長、JPSA 一般財団法人日本プロスピーカー協会認定ベーシックプロスピーカー、東京書籍高校物理教科書執筆委員、教育立国推進協議会民間有識者。

教師一年目、荒れた学校に赴任し授業崩壊を経験。そこから真剣に学び始め、二年目は授業崩壊から奇跡の生還を果たす。注意や叱責をしないで子供をひきつける指導法、成績の伸びる指導、手帳を活用したタイムマネジメント、特別支援教育、チームビルディングの技術を学び、実績する。進路指導部長として難関大学合格実績を 3 倍に伸ばす。

坊 佳紀(ぼう よしき)

1992 年奈良県生まれ。奈良県公立高校教諭・柔道部監督 柔道五段。

教師 3 年目に生徒・保護者・同僚との人間関係が崩壊。先が見えない絶望感で教師を辞めようと思い詰っていた時に、学びへの自己投資を通じて大きく成長。学んだ内容を現場で実践し続けた結果、柔道部では前人未到の初心者チームでの奈良県大会入賞を達成。学級経営はいじめ・不登校はゼロ、テスト成績とクラス出席率は 3 年連続学年 1 位を獲得。学級の自己肯定感アンケートでは全国平均の 46% を大きく上回る 96% を記録した。2019 年に“教師塾 change!”を立ち上げ、代表として、教育関係者・保護者・経営者に教育者としてのあり方と教育技術を伝えてきた。現在、メンバーは 200 名を超える。2022 年 4 月より教育委員会の推薦を受けて筑波大学大学院に進学。2022 年 2 月公立教諭、公務員日本初の日本プロスピーカー協会認定プロスピーカーとなり、JPSA 教師部会を立ち上げた。同月より教育立国推進協議会に現場教諭から初抜擢さ

れ、国会に教育に関する提言を出している。2023年12月全国オモロー授業発表会実行委員長に就任し、全国45都市で立ち上げ、日本中の公立学校教諭の活躍の場を作っている。また、2年間の大学院期間中に、日本各地50校以上の視察だけでなく、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、イタリア、インド、スリランカ、インドネシア、フィリピンなど15カ国にわたり世界中の学校視察を行い、各地で飛び込み授業を行った。その中で対話と自己決定が真の民主主義を実現する上で、非常に重要であることに気づき、当事者意識を育む教育を自ら担任をする学級で実践を積み重ねることで、日本の教育に還元している。2024年3月、和田秀雄氏との共著『超積極的黄金の三日間』を出版。宝塚市教育委員会研修講師、その他福岡県某企業研修講師などを勤め、年間登壇回数は80回を超える。さらに、実践が書籍や新聞、ラジオ、テレビに取り上げられている。

◇シンポジウム登壇者プロフィール

溝口哲志(みぞぐち さとし)

津市立美杉小学校教諭。皇學館大学教育学部卒業。在学中は道徳教育ゼミに所属し、PBISや生徒指導について研鑽を進める。2017年に伊賀市の小学校で勤務をはじめ、道徳教育やPBIS、ICT機器を活用した教育実践を進める。今年度で教員8年目となる。現在は出身地である津市立美杉学校に勤務し、地元の子どもたちの自己肯定感を高めることに重点をおき日々実践を進めている。

論文に「道徳教育とポジティブ生徒指導による学級経営」(皇學館大学研究プロジェクト〈道徳研究〉報告No.2、2019年)、市川哲共著「ポジティブ道徳カード法～基礎理論の検討～」(日本学校カウンセリング学会・生徒指導士会『会報』第52号2020年)、「ポジティブ道徳カードを活用した学級経営の一考察」(同『会報』第53号、2020年)。

森本晃介(もりもと こうすけ)

滋賀県立草津養護学校教諭、公認心理師、臨床発達心理士。

中学校教諭として勤務した後、特別支援学校教諭として勤務している。対人関係がどのように形成されるのかについて興味を持ち、実践研究を行っている。

論文に「PMC法の新たな実践について」(日本学校カウンセリング学会・生徒指導士会『会報』第56号、2022年)、「特別支援学校高等部でのCICOの実践」(同『会報』第59号、2023年)「特別支援学校高等部におけるポジティブ行動支援に関する実践研究－仲間とのつながりを意識して－」(立命館大学大学院教職研究科実践探究論文、2023年)。

市川 哲 (いちかわ さとし)

南山大学教職センター講師、公認心理師。大阪産業大学学生相談室カウンセラー・非常勤講師、兵庫教育大学大学院博士課程を経て現職。教育心理学の立場から、学校現場でのポジティブで予防的な指導・支援に関する研究に従事。

共著に『改訂専門教育心理学』(〈財〉生徒指導士認定協会研究開発部、2022年)、共訳著にヤング、エリナー・L『いじめ、不登校をなくす中学・高校ポジティブ生徒指導PBS：指導者のための実践ガイド』(溪水社、2023年)、Simonsen他『ポジティブ生徒指導・予防的学級経営ガイドブック：いじめ、不登校、学級崩壊を予防する問題解決アプローチ』(明石書店、2020年)、論文に森本晃介他共著「知的特別支援学校高等部における軽度知的障害生徒の不登校予防に関する研究－出席率と授業態度、ポジティブ道徳カード記入内容の分析－」(『兵庫教育大学 学校教育コミュニティ』第13号、2023年)、「小集団(バズ集団)を導入した授業の評価に関する研究：自己評価、他者評価、相互評価による即時評価」(『皇學館論叢』第56巻第1号、2023年)等。